

# 県民フォーラム意見 報告書

(第46回～第49回)

令和5年3月

水源環境保全・再生かながわ県民会議

## 県民フォーラム意見について（第46回～第49回）

### 1 はじめに

「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」（以下「県民フォーラム」という。）は、水源環境保全・再生の取組について、県民の意見を幅広く収集するとともに、水源環境保全・再生に係る情報の提供・発信等を目的に「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」という。）が開催するものである。

第45回県民フォーラムまでに収集した県民フォーラム意見については、これまでに取りまとめた上、県に対して報告を行い、県から報告に対する回答を受けている。

このたび、令和4年度に実施し、第49回県民フォーラム分までに収集した県民フォーラム意見について取りまとめたので、県に対して報告するものである。

なお、第28回県民フォーラムからもり・みずカフェを単独開催ではなく、他団体が主催するイベントに出展し開催する、昨今の新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み第48回県民フォーラムをオンラインで開催するなど、新たな開催手法も取り入れることで、効率的な県民意見の集約や情報発信に努めている。

### 2 県民フォーラム（第46回～第49回）の結果概要

第46回（もり・みずカフェ）	日時	令和4年8月6日（土）10:00～14:00
	会場	やどりき水源林（足柄上郡松田町寄地内） ※同日開催「やどりき水源林のつどい」で実施
	出席者	○情報発信チーム 稲野辺 健一、上田 啓二、大原 正志、太幡 慶治、西田 素子、古舘 信生、三宅 潔、宮下 修一、三好 秀幸
	アンケート回答者数	99名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源環境保全・再生施策の紹介、アンケートの実施</li> <li>・各種広報資料の配布（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等）</li> <li>・しずくちゃんグッズ（ボールペン、お面、缶バッジ、塗り絵うちわ、ウェットティッシュ）の配布</li> <li>・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」読み聞かせ</li> </ul>
第47回	日時	令和4年10月15日（土）10:00～16:30
	会場	イオン秦野ショッピングセンター（秦野市入船町12-1） ※同日開催「神奈川再発見フェア」で実施
	出席者	○情報発信チーム 稲野辺 健一、上田 啓二、大原 正志、乙黒 理絵、太幡 慶治、西田 素子、増田 清美、宮下 修一
	アンケート回答者数	53名

(もり・みずカフェ)	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源環境保全・再生施策の紹介、アンケートの実施</li> <li>・各種広報資料の配布（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等）</li> <li>・しずくちゃんグッズ（ボールペン、お面、マグネット）の配布</li> <li>・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出</li> </ul>
第48回（オンライン開催）	テーマ	森と水を守る神奈川の挑戦 今そして未来に向けて
	日時	令和4年11月20日（日）13:00～16:00
	開催方法	Zoomによるオンライン開催
	出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施策調査専門委員会 太田 隆之</li> <li>○市民事業専門委員会 増田 清美、青砥 航次</li> <li>○情報発信チーム 稲野辺 健一、上田 啓二、大原 正志、乙黒 理絵、太幡 慶治、西田 素子、古舘 信生、三宅 潔、宮下 修一、三好 秀幸</li> </ul>
	アンケート回答者数	80名（視聴者数 150人）
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>[1] 開会挨拶（5分） 神奈川県知事 黒岩 祐治</li> <li>[2] 『第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画』説明（30分） 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課長 井出 博晶</li> <li>[3] 市民活動団体の取組紹介（30分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人 野生動物救護の会</li> <li>・森のなかま</li> </ul> </li> <li>[4] パネルディスカッション（90分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「森と水を守る神奈川の挑戦 今そして未来に向けて」</li> <li>・パネリスト：梅津 伸夫氏（タカナン乳業株式会社 品質保証部長（環境対策室長）） 太田 隆之氏（静岡大学地域創造学環・人文社会科学部 准教授） 濱田 真帆氏（NPO法人緑のダム北相模（お茶の水女子大学文教育学部在学）） 長谷部 勇太氏（神奈川県環境科学センター主任研究員）</li> <li>・コーディネーター：西田 素子氏（水源環境保全・再生かながわ県民会議委員）</li> </ul> </li> </ul>	
第49回	日時	令和5年2月11日（土）、12日（日）10:00～17:00
	会場	アミューあつぎ 5階 アートギャラリー（厚木市中町2-12-15） ※同日開催「第22回さがみ自然フォーラム」で実施
	出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信チーム 稲野辺 健一、上田 啓二、大原 正志、乙黒 理絵、倉橋 満知子 太幡 慶治、西田 素子、古舘 信生、増田 清美、三宅 潔、三好 秀幸</li> </ul>

(もり・みずカフェ)	アンケート回答者数	112名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源環境保全・再生施策の紹介、アンケートの実施</li> <li>・各種広報資料の配布（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等）</li> <li>・しずくちゃんグッズ（ボールペン、お面、マグネット、写真立て等）の配布</li> <li>・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」読み聞かせ</li> <li>・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出</li> </ul>

### 3 県民フォーラム意見

第46回～第49回県民フォーラムにおけるアンケート集計結果及び個々の意見内容は、別紙のとおりである。

### 4 県民フォーラム意見の傾向について（第46回～第49回）

- ・県民フォーラムで寄せられた意見について、「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「県外対策」、「水源地域の活性化等」、「その他」の7項目により分類した。結果は下表のとおりである。
- ・主な意見としては、「保全・再生の取組は重要で、ぜひ続けていってほしいです」「今日のようなイベントの機会があると嬉しいです」等が寄せられた。なお、「その他」の項目では取組の継続を求める声や、森や水の大切さを認識した等の意見があった。

第46回～第49回県民フォーラム 項目別意見件数

項目		意見件数				
		第46回	第47回	第48回	第49回	計
1	森林整備	0件	1件	5件	1件	7件
2	水源環境への負荷軽減	0件	0件	0件	4件	4件
3	情報提供・普及啓発	2件	3件	9件	7件	21件
4	市民活動支援	0件	0件	3件	1件	4件
5	県外対策	0件	0件	0件	0件	0件
6	水源地域の活性化等	1件	0件	0件	0件	1件
7	その他	14件	8件	26件	17件	65件
計		17件	12件	43件	30件	102件

第46回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	普情 <sup>3</sup> 及報 啓提 発供 ・	神奈川県の水の恵みを子供たちが学ぶ機会となったことは本日良かったです。
2		今日のようなイベントの機会があると嬉しいです。
3	性域水 <sup>6</sup> 化の源 等活地	世界の環境を悪化させないために、できる取組を積極的に取り組んでいきたいです。
4	7 その他	保全・再生の取組は重要で、ぜひ続けていってほしいです。
5		できる範囲で森を守り、発展させて、このまま水や水源林を守ってほしい。
6		このまま続けてほしい
7		これからも保全を続けていってほしいです。
8		これからは水を大切にします。
9		納税は継続したほうが良いと思います。
10		これからも続けていって自然をきれいにしないといけないと思う。
11		これから自然を大切にして、水を多くしていきたい。
12		お疲れ様です。
13		山の中を歩いてよくわかりました。
14		林業・農業の維持が連なると思う。
15		資源を大切にしたいと思います。
16		継続していただきたい
17		たまには学んでいきたい

第47回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	整森 <sup>1</sup> 備林	山を大切にすることは良いことですが、道路の工事の為に山をくずし水の出なくなっている所もあるようで、どうか?と思う事もある。
2	・情 <sup>3</sup> 普報 及提 啓供 発	自然を学ぶ機会を増やしたほうがいい
3		さらにピーアールをした方がいい
4		国民の皆にどの様に水資源の大切さを理解と協力を広めることが大切だと考えます。難しいと思いますが頑張ってください。
5	7 そ の 他	是非続けてください。
6		税金をかけてでも実施すべきことだと思います。頑張ってください!
7		大変だと思いますが頑張ってほしいです
8		これからも続けていくべきだと思います。
9		農業予算も削られており、水と同様にもっと力を注ぐ方がよいと思う。
10		農業の衰退につながってしまうので水は大切。
11		知らないことがたくさんあると感じる。
12		水は大切です。

第48回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(オンライン開催)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	1 森林整備	シカ対策、水の流出について、具体的にしている事が知りたかったです。
2		今回のフォーラムの主題からは外れますが、次のようなことが頭に浮かびました。①気候変動に伴う気象現象の激甚化が懸念されており、それによって引き起こされる土砂災害が水源地域で発生する可能性があるかと思えます。それによる水への影響がどのようなものになるか検討していらっしゃるかが気になります。②関東大震災では丹沢などで土砂崩れが起きたと聞きます。大きな地震による水源への影響がどの程度ありそうなのか、予想などがあるのかどうかや、対策などが検討されているのかどうかも、気になりました。
3		シカが影響しているとわかったが、全滅させればいいとは思わない。頭数の調整が必要と思った
4		水源林保全の中で「鹿」対策が取り上げられませんでした。近年増加して被害も比例していると聞きました。防護柵を徹底して作るか、ハンターにより駆除するしか選択肢は無いので中途半端な対策は意味がないと思えます。
5		シカによる森林への影響が大きくなっている。最近、豪雨が頻発している。森林が崩れたり、植生の影響を受けると、元の健全な状態や生態系に戻るまで長い時間が必要。今のうちから出来る対策を進めてほしい。
6	3 情報提供・普及啓発	どのような活動をしているのか、県のたよりなど広報紙に具体的に紹介する頻度を増やしてほしい。
7		県民参加形式の、自然保全活動について、もっと企画、発信して欲しい。
8		事業を行うだけでなく、きちんとモニタリングしていることに安心した。もっとモニタリングの様子を聞く機会があるといいと思った
9		県の補助金の詳細、活動の様子など、各市町村のsnsなどにも発信してもらえるように連携できればいいのと思う
10		侵入竹林、放置竹林が森林を侵食していることについても、もっと多くの人に知ってもらいたいと思います。今回中学生のうちから間伐などの山仕事を体験したことで、山に関わるハードルが下がっている方々がたくさんいることを知り希望を感じました。山や森林に関心を持ち関わる人がさらに増えてゆくことを期待しています。
11		県民が参加出来る、自然保全活動の更なる企画と、その情報発信を希望します。(参加の機会を増やすため、年度内の単発イベントでなく、複数回あると良いのではないのでしょうか)
12		当該分野の情報分析及び情報発信の仕組み。現状県民の殆どに認知されていない。私もたまたま知り合いの市民団体の方からお聞きして参加。
13		facebookでたまたま知ったが他にアピール方法は？
14	アーカイブ希望です。	
15	4 市民活動支援	森林(山)水源林、涵養林地帯の再生(害獣管理も含め)を地道に進めていき、林松が豊かで、涵養機能を発揮できる豊かな混交林を再生利用していけるように、広報的面も進め、時間と意識を持った中高年層も弱体視せずに力を集結してもらえるようにボランティア活動のコーディネート化できるとよいと思う。水源林のための税金についても、適正な使用が継続してできるよう、情報公開を進めるべきと思う。地域を支えられる森林、管理捕獲からの畜産系の産業が地域活性化のために起こせるような施策の支援も考えていけるといいと思う。水源に当たる山林が私有地で海外資本の手に渡ることのないような、法・条例整備や所有者の啓発を進めてほしい。
16		多くの県民の方々に水資源に関する自然保護活動に参加していただけるように努力したい。
17		県立21世紀の森やそこで活動している団体が森林・水源の保全活動、啓発を行っております。今回、視聴させていただきましたが、関連が見受けられませんでした。何か理由があるのでしょうか。

番号	項目	記載内容
18		水源環境保全・再生事業が終わってしまったら、また森林が荒廃してしまわないか心配なのですが、その後何か計画をしているなら教えて下さい。
19		神奈川県が取り組んでいる事業の中でも20年の長きにわたる施策で、御苦労も多かったことと推察致します。効果が現れているとのご報告。今後も水資源の確保、水環境の保全回復にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。
20		オール流域での順応型ガバナンスがてんかいはされることを望んでいます。20年間の取り組みが終わった後、それをどのように自立させていくか検討されているのか知りたいです。
21		県内全体に対する活動が必要では？
22		会員の高齢化や減少に悩む市民団体が多いなか、活動報告やパネルディスカッションに参加された団体はそれぞれの個性を持って活発に活動されていて素晴らしいと感じました。市民団体の活動は、考え方、取り組み方、専門性などが団体ごとに大きく異なると思いますが、お互いに尊重しつつ緩やかに交流が進むとよいと感じました。
23		人間のみならず、多くの生き物の拠り所である森を、人間の都合だけの考えで壊してはいけません。
24		大学生のパネリストが、県民参加による森林づくりに熱心に取り組んでいることに感銘を受けた。また、彼女の様々な発言は大変示唆に富んでいたと思う。行政にはこうした若い世代の意見を真摯に受け止めて欲しいと思う。
25		地道な活動でも継続している団体に感謝します
26		まずは、着実に様々な施策を実施していくこと、これに つきます。実績が挙げれば、その先に繋がるでしょう。県外在住ですが、応援しております。
27	7 その他	山登りが好きです。最近登山道の森林が間伐で整備されているのを実際目で見ています。市で取り組んでいるのかな？と思っていましたが、今日のセミナーで全て結びつきました。里山作りや野鳥を守りたいという気持ちは強いです。河川は、海へ続いていて、河川に含まれている鉄分は海のプランクトンやこんぶ、ワカメの再生にも重要な成分です。光合成により酸素を作り出してくれます。固定酸素に繋がります。地球温暖化対策に繋がります。
28		水は貴重な財産です。今後も取り組みに大いに期待いたします。
29		横浜市は、独自の水道水源林を持って他市とは違う水道事情ということを強調していたが、県の説明を聞いて何だ道志川の水は横浜市の使う水の1割ほどなんだ！横浜市に対して不信感を持った。
30		今日話された中の課題や意見は今後反映されていくのかきになりました。
31		畜産業に従事する者ですが、小山町の鮎沢川流域に世界最大規模のサーモンの養殖場が出来ると聞きました。県として、事業者には調査ヒアリングする機会を設けるべきだと考えます。水質汚濁防止法が出来た当時から比べ、畜産や養魚などの産業規模が百倍以上になっている今、業界の健全な発展のためにも、栄養塩の排出の総量規制基準を新たに整備するなど、法的にも現代の産業規模に対する対応がなされるべきだと考えます。
32		水源環境保全税導入前に比べて水源林に指定され、整備されてきた森林環境は大きく改善され、水源林としての価値が高まったと思う。この流れは止めることなく末永く引き継がれていくべきである。
33		今後より重要となる水資源の確保と保全について、更に積極的に関与していかねばならないので、引き続きの補助と支援が必要。
34		感想：森林保護は植林だけをすればよいというものではないことがわかって勉強になった。間伐という作業も必要であり、大きな木だけでなく下草の保護も必要だということがわかってとても興味深かった。
35		長い時間だったので、途中頭がぼんやりしてしまいました。
36		パネリストからの意見のとおり通り水源環境の保全は生態系を含む神奈川県の高い自然となにより私たちの命を守る活動なので、第4期かながわ水源環境保全・再生5か年計画の満了をもって神奈川県役を終わるのではなく、引き続き事業を継続してください。
37		普段あまり意識しないですが、水源環境の保全が大切だと気付かされました。



番号	項目	記載内容
38		<p>森林の成長の仕組みが、普段、自分が花や植木の栽培の世話と同様に花、植木が森林に変わったものと気づかされ、鉢花の手入れの規模が大きくなったものと考えればよいのだと思った。</p> <p>森林の伐採→太陽の光→葉の光合成。雨(=たっぷりの水やり)→土の水分補給と浄化(細菌を落とす役割も含む)→根が生える→木の成長→実をつける(動物の食料)。今回の参加で、水源環境について教えられたり、気づかされたりしました。ありがとうございました。</p>
39		<p>ヨコハマ海洋市民大学という実行委員会による講座を主催しています(今年度は9期め)。海好きが海を通して見つけた社会課題を自ら解決する人になることを目標としています。海は海だけでその環境を語ることはできません。水源となる河川や森林の環境と一体で考える必要があるからです。活動発表の方も言及されていましたが、独立した活動だけではなくそのプラットフォームが必要とされています。県には河川は県、海岸線は国といった管理権限を乗り越えてそのプラットフォームになっていただきたいです。</p>
40	7 その他	<p>当日の資料を良く見たいのですが、どこを見れば良いのか教えてください。フォーラムの案内メールや県民会議のページには見当たらないので。また、事前に説明資料を見ておきたいと思いました</p>
41		<p>森林資源や水産資源を活かす視点からの保全・再生もテーマに入れて欲しい。</p>
42		<p>15年間の活動による短期的な成果として下層植生の回復が確認できたことは良いことだと思います、同時に水源環境の保全・再生のために必要な森の再生という自然の回復には長い年月が必要なことを感じました。残り5年間で20年間の活動結果を評価し森の再生へ向けた次の活動へと繋げ、是非とも活動の継続をお願いします。仮に達成できない計画があったとしても失敗から学び森の再生へ向けた活動を継続すること、その失敗の経験と知識を後世に残すことも税金の有効活用だと考えます。森の再生へ向けた次の活動にも引き続き県民が活動を評価し参加する仕組みの維持、改善をお願いします。県の行政が中心となり参政権、発言の機会を持たない森にくらす動植物の立場を知り、代弁し水源環境の保全・再生活動へ反映することで県民の豊かな暮らしも支えていただければと思います。順応的管理という考え方があることを新たに学ぶことができましたありがとうございます。</p>
43		<p>タカナシ乳業の牛乳パックにかながわ水源のもりづくりに協力しています。それに身近に感じ、今回、タカナシ乳業が参加する事を知り参加を決めました。パネリストとしての発言内容は、理解できました。また、大学生がパネリストとして参加したのは感心しました。</p>

第49回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	整森 1 備林	森の木をきらないでほしい
2	負水 2 荷源 軽環 減境 への	ゴルフ場、田んぼの農薬、米軍基地の汚水等の問題がある。
3		自分たちも水の安全の取り組みについてできることがあれば取り組みたいなと思いました。
4		自分でできることから水を大切にしていきたいと思った。
5		水を大切に生活していこうと思いました。
6	3  情報提供・普及啓発	厚木に暮らしているので、森と水の恵みに感謝しています。その恩恵を忘れずに、子供たちにも伝えていきたいです。
7		あたりまえにある水があたりまえに手に入らないことを啓発して、皆で水源を守っていきましょう
8		このような取組を色々なせだいに積極的に伝えていってほしい。
9		PR不足。特に中・高・大生に。教育事業に注力を
10		街の中で、行きやすい所で開催してくれてありがたかったです！
11		水源環境保全について、不断の努力(知識を広める)が必要だと思います。
12		まずは税金の使い道をもっと周知して、民の同意を広げていくことが活動の推進につながると思う
13	支市 4 援民活動	地域で連携して取り組むことが大事だと知ることができました。
14	7 その他	楽しかった
15		応援しています。
16		時々、みています。
17		キャラクターのことは知りませんでした！
18		今の計画が終了した後、いかに水源環境を保全していくか、県民には関心を持って考えてもらいたい。
19		きめ細かな政策をお願いしたい。
20		個人レベルで出来る事をやっていきたい。
21		これからも様々な角度から水の事を考えていきたい。
22		素晴らしい活動です。
23		引き続き、きれいな水源を守っていただきたいです。
24		もっと進めるべきである。
25		色々とおうかがいして関心が高くなりました。
26		水源環境を保全・再生してもらいたい。
27		全部良かったです
28		きれいな水が飲みたいです
29		これからも水質・環境を良くするための活動をがんばってほしいです。税金を意味のある自然浄化できる環境づくりにこれからもつかってほしいです。
30		大切にしたいです。子供たちにも教える大切なことと思います。